

こんにちは

西  学校です

見附市立西中学校
学校だより

令和5年12月8日
第14号

他人事を自分ごとに ～人の痛み、感じていますか？～

校長 水戸 巖

12月10日は、世界人権デー、そして4日～10日は人権週間です。新潟県では、公式チャンネルで、「他人事を自分ごとに～人の痛み、感じていますか？～」との動画配信を行っています。そこで、子どもたちに次のメッセージをおくりました。

右の歌は、フォークソングの神様と呼ばれた岡林信康さんが作詞作曲されたものです。部落差別（被差別部落出身であることを理由に周囲から結婚を認められなかった）を苦に自殺をしてしまった方の遺書をもとにつくられたものです。

このような差別は、今なお残っています。古い本ですが、『新潟でおきた部落差別事件』からいくつかピックアップすると・・・

- ◆結婚差別／◆新聞による差別見出しの掲載／◆銀行による「部落地名総覧」購入／◆差別演劇／◆高校生ロックバンド差別事件／◆大学登山部によるペナントに差別語
- ◆「行政職員採用試験申込書」で就職差別 などです。

皆さんは、小学校の時から「生きるⅢ」「生きるⅣ」などのテキスト等を使って部落差別や人権問題について学習を進めてきたことと思います。

この人権週間を機に、（例えば、次の点について）考えてみましょう。

- ① 差別の現実等の理解～正しい理解、日本では？ 世界では？
- ② 自分自身の人権意識は？～自分の行動を振り返る機会に。
- ③ 解消に向けた一歩。何ができるか？

という内容です。

先に紹介した県公式チャンネルでは、「言葉の雨が降ってきた。言葉の雨は降ったら消えない。人の痛み感じていますか？」というメッセージをおくっています。人の痛みを感じ取れる人に成長してほしいものです。ぜひ、御家庭でも話題にいただければと思います。

手紙

岡林信康 作詞／作曲

私の好きな みつるさんは
おじいさんから お店をもらい 二人一緒に暮らすんだと
うれしそうに 話してたけど
私と一緒になるのだったら
お店をゆずらないと言われたの お店をゆずらないと言われたの

私は彼の幸せのため 身を引こうと思っています
二人 一緒になれないのなら 死のうとまで彼は言った
だから全てをあげたこと くやんではない 別れても

もしも差別がなかったら 好きな人とお店がもてた
部落に生まれたそのことの どこが悪い なにがちがう
暗い手紙になりました
だけど私は書きたかった

科学工作部、関東甲信越大会でも健闘！



ロボコン関東甲信越大会（12月3日。会場：栃木県栃木市立大平中学校）。2チームとも決勝トーナメントに残り、ベスト8、16の結果を残しました。挨拶や返礼がとてもよかったと評判。大切なことですね。

子どもたちの活動の様子をホームページ（西中ブログ）でお知らせしています。ぜひ、ご覧ください。



見附のイメージキャラクター ミッケ

冬季休業中の学校閉庁日について

見附市では、冬季休業中の12月27日（水）～1月5日（金）の期間中、年末年始休業日（12月29日～1月3日）を除き、2日間の学校閉庁日を設定し、学校での諸活動を行わないこととしています。

西中学校では、12月27日（水）及び12月28日（木）を設定しておりますので、ご承知ください。この間の緊急連絡は、校地校舎・施設設備については教育総務課、児童生徒については学校教育課になりますので、よろしくお願いいたします。

（見附市代表電話：62-1700）

県教委広報紙『かけはし』(56号)が発行されました

県教育委員会作成の広報紙「かけはし」の56号が発行されました。これは、県教育委員会と家庭・地域をつなぐ広報紙として、県教育委員会の取組について広く理解していただくことを目的に発行しているものです。

一昨年度より、電子配信のみとなっておりますので、県教育委員会のホームページから、または以下のURLからご覧ください。

- 1 QRコードより →
- 2 「かけはし」56号掲載ページ



<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/1191169877149.html>